

## 議事案件

### 1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（自己評価）について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領第8により、令和5年度地域公共交通確保維持改善事業（令和4年10月1日～令和5年9月30日）に関する事業評価（自己評価）について審議する。

#### 1 町民バスの運行状況（対象期間：R4.10.1～R5.9.30）

##### ①運行路線

	1日合計9便
・市街地循環線（イオンモール～下田駅～百石中央～イオンモール）	1日4便
（イオンモール～下田駅～イオンモール）	1日3便
・北線（朝便：向山駅西口～石田温泉病院前）	1日1便
（夕便：石田温泉病院前～向山駅西口）	1日1便

##### ②利用状況等

町民バス年間利用者数 25,252人（1日当たり平均69.2人）

・現金乗車	19,511人	
	（大人 19,176人）	※1回200円
	（小学生 335人）	※1回100円
・回数券（11回券）	1,384人	
・回数券（13回券）	4,220人	
・無料券	137人	
	（おいらせ病院 13人）	
	（いきいき館・のびのび館 120人）	
	（老人福祉センター 4人）	

##### ③運行経費等

《運行経費一覧（地域内フィーダー系統確保維持費補助金関係）》

系統名	経常費用	経常収益	補助対象経費	補助金額
北線	5,625,047円	911,230円	4,448千円	1,356千円
市街地循環線(長路線)	8,350,762円	2,602,847円	5,747千円	1,752千円
市街地循環線(短路線)	2,541,017円	1,049,612円	1,491千円	455千円
	16,516,826円	4,563,689円	11,686千円	3,563千円

#### 2 おいらバスの運行状況（対象期間：R4.10.1～R5.9.30）

##### ①運行路線

町内全域（指定出発点～指定目的地点） 平日4台／土日祝日3台

##### ②利用状況等

おいらバス年間利用者数 23,759人（1日当たり平均65.1人）

・現金乗車	22,658人	
	（大人 22,444人）	※単独乗車9,275人／乗合乗車13,169人
	（小学生 214人）	※単独乗車20人／乗合乗車194人
・乗合無料券	1,101人	

(大人 1,087人) ※単独乗車 344人／乗合乗車 743人  
 (小学生 14人) ※単独乗車 8人／乗合乗車 6人

### ③運行経費等

≪運行経費一覧（地域内フィーダー系統確保維持費補助金関係）≫

運行事業者	経常費用	経常収益	補助対象経費	補助金額
三八五交通（株）	15,734,641円	3,766,900円	11,967千円	3,649千円
百石タクシー	6,731,354円	2,485,800円	4,245千円	1,294千円
円徳タクシー	6,751,945円	2,424,500円	4,327千円	1,319千円
	29,217,940円	8,677,200円	20,539千円	6,262千円

## 3 事業評価（対象期間：R4.10.1～R5.9.30）

国の指定様式により「事業評価」を作成し、自己評価を行う。

- ・資料1「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」
- ・資料2「事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について」
- ・資料3「事業評価概要資料」

## 2) 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

町民バスの運行において、青い森鉄道「下田駅」における青い森鉄道線への接続の利便性の向上及び道路交通事情による安全運行を確保するため、運行ダイヤ（所要時分を含む）及び運行経路の見直しについて協議する。

### 1 運行ダイヤ（時刻表）の見直し

#### ①所要時分の調整

現在の運行実績において、慢性的な運行の遅れがあるため、所要時分（停留所間の運行時間）の調整を行う。

⇒資料6「生活交通確保維持改善計画（変更案）」の時刻表を参照してください。

- ・「老人福祉センター前」停留所～「下田駅前」停留所  
所要時分2分→所要時分4分
- ・「下田駅前」停留所（着）～「下田駅前」停留所（発）  
所要時分0分／26分／30分→所要時分1分／31分／14分
- ・「間木」停留所（改定後「中下田」停留所）～「木内々小学校」停留所  
所要時分1分→4分
- ・「木内々小学校北口」停留所～「イオンモール下田」停留所  
所要時分2分→4分
- ・「役場分庁舎」停留所～「秋堂」停留所  
所要時分4分→3分
- ・「秋堂」停留所～「木崎」停留所  
所要時分0分→1分
- ・「染屋」停留所～「役場本庁舎」停留所  
所要時分2分→4分

## ②「下田駅前」停留所の発着時刻の変更

青い森鉄道「下田駅」での電車との接続が5分程度（市街地循環線・第5便）しかないため、乗り継ぎ時間が10分程度は確保できるよう発着時刻の変更を行う。  
⇒資料6「生活交通確保維持改善計画（変更案）」の時刻表を参照してください。

【見直し案】

(変更前)		➔	(変更後) (青い森鉄道)		八戸行 14:40
停留所名	第4便		停留所名	第4便	
イオンモール下田	14:27		イオンモール下田	14:20	
下田駅前	14:33		下田駅前	14:28	

## ③出発時刻の調整（市街地循環線・イオンモール下田）

イオンモール下田敷地内では、他社（つばめ交通）が運行するイオンシャトルバスと町民バス（市街地循環線・第5便）の出発時間が重なることがあるため、5分以上の時間差を空けた出発時刻の調整を行う。

⇒資料4「イオンモール下田停留所発着一覧表」を参照してください。

## 2 運行経路の見直し

### ①路線の新設（市街地循環線／「中下田」停留所の設置）

冬期間（12月～3月）における「間木」停留所から国道45号へ至るルート（坂道）が道路凍結時に車両が登坂できないことがあり、常時の安全運行が確保できないため、青い森鉄道の線路踏切から国道45号方向へ新たな路線を新設する。あわせて、「中下田」停留所を新設する。

⇒資料5「おいらせ町民バス路線図 No.1」を参照してください。

※新設する「中下田」停留所の位置については、県道管理者と事前協議済である。

※新設する「中下田」停留所の位置については、三沢警察署と事前協議済である。

### ②路線の一部付け替え（北線／「木ノ下小学校」廃止・「青葉北」新設）

「木ノ下小学校」停留所を通行する現在の運行ルートは、木ノ下小学校の校舎北側の通学路にあたり、バスが運行する時間帯は児童の登校時間と重なり交通事故の危険性が懸念され、常時の安全運行が確保できないため、その運行ルート（「木ノ下小学校」停留所）を廃止し、新たに県道8号線を通行する運行ルートへ路線の付け替えをする。あわせて、「青葉北」停留所を新設する。

⇒資料5「おいらせ町民バス路線図 No.2」を参照してください。

※新設する「青葉北」停留所の位置については、町道管理者と事前協議済である。

※新設する「青葉北」停留所の位置については、三沢警察署と事前協議済である。

### ③路線の新設（北線・朝便／運行ルートの変更）

朝便のこれまでの運行ルート（「おいらせ病院」→「百石中央」→「本町五丁目」→「百石高校前」→「石田温泉病院前」）において、乗降客の大半を占める高校生が「百石高校前」の停留所で降車して学校へ登校する際に道路を横断する必要があ

り、横断時の交通事故防止及び登校の利便性向上のため、「イオンモール下田」停留所以降の運行ルートにイオンモール北側の町道を通行する路線を新設し、これまでの運行ルートと逆順ルート（「石田温泉病院前」→「百石高校前」→「本町五丁目」→「百石中央」→「おいらせ病院」）で運行できるよう路線の新設を行う。

⇒資料5「おいらせ町民バス路線図 No.3」を参照してください。

### 3 運行経路の見直しに伴う運賃・料金の設定

上記2の路線の新設に伴い、新たに運行系統の追加（北線・向山駅～イオンモール下田～おいらせ病院）や運行経路の変更（市街地循環線・経路変更／北線・路線の付け替え）が生じるが、運賃・料金の設定は現行のとおり均一運賃とする。

- コミュニティバス「町民バス」全線の利用料金  
(運賃の種類と額)
- ・1回の乗降  
中学生以上 200円  
小学生 100円
  - ・回数券  
普通回数券200円券11枚綴り(2,000円)  
通学回数券200円券13枚綴り(2,000円)
- (適用方法)
- ・回数券は1回の乗降につき1枚使用
  - ・未就学児は無料
- (適用年月日)  
令和6年4月1日から
- (運行事業者)  
岩手県北自動車株式会社(南部バス)

### 4 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更

上記1及び2の見直しを踏まえて、令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部を変更する。

⇒資料6「生活交通確保維持改善計画(変更案)」を参照してください。